

抗がん剤感受性検査報告書

病院ID: 001

AIRDEC

御中

2021/01/24

(受付日: 2021/01/10)

患者名: 白井 カルボ

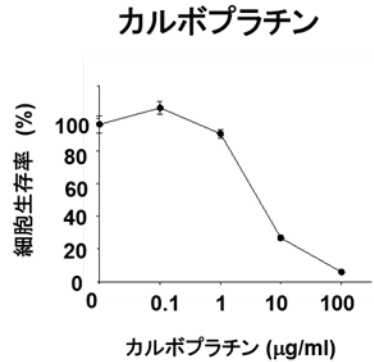
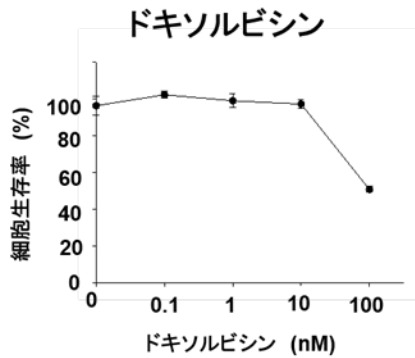
様 検査番号: 0001

動物種: 猫

品種: mix

検査組織: 左第3-5乳腺

年齢: 13歳 2ヶ月 性別: 避妊♀



	ドキシソルビシン	カルボプラチン
単剤でのIC ₅₀	> 100 nM	4.31 µg/ml
感受性	△	◎

◎:感受性が高い ○:感受性あり △:やや感受性あり ✕:感受性が低い

IC₅₀: 50%オルガノイドの生存率を抑制する薬剤の濃度。

注: 薬剤感受性は、IC₅₀と最大濃度での抑制率を算出し、これまでの症例との比較によって判定しています。

コメント

形成されたオルガノイド細胞においては、カルボプラチンの感受性がかなり高く、ドキシソルビシンには部分的に感受性を示す結果となりました。高濃度での抑制率はカルボプラチンで9割以上、ドキシソルビシンでは4割ほどでした。

飼い主さんに添付の結果をご説明いただき、治療選択の参考にしていただければ幸いです。

化学療法を開始された際には今回のオルガノイドを用いた抗がん剤感受性試験の結果との相関を追跡調査させていただきます。

培養写真: 培養後 1日目のオルガノイドの顕微鏡写真

※用量の参考データ(個体差あり)



猫乳腺腫瘍 使用薬剤	血漿中濃度	濃度変換
ドキシソルビシン (抗腫瘍性抗生物質)	50mg/m ² を静注⇒C _{max} : 15µM その後低下して、10nM程度で36時間推移	100nM⇒57.99ng/ml
カルボプラチン (白金錯体)	24mg/kg投与⇒C _{max} : 149µg/ml 12mg/kg投与⇒C _{max} : 87µg/ml	

エアデック mini 診断医 石原 勇介